

～豪雨災害を契機に地域貢献型法人を設立～ 原田 亮司さん(宇和島市(吉田町))

(株)玉津柑橘倶楽部 代表取締役 1983年生まれ
ホームページ 【<https://kankitu-club.com>】
フェイスブック 【玉津みかんをもっと広め隊】



☆経営概況☆

個人では、かんきつ専業農家(温州:1.5ha、中晩柑:0.7ha)で、労働力は本人、父、母。高校卒業後、県内外の企業に就職したのちに、地元JAに就職したのをきっかけに、かんきつに関わる機会が増えたことで就農することを決意しました。以前から、玉津地区の現状打開のために、現在の玉津柑橘倶楽部のような組織設立を構想していました。

豪雨災害からの復興をきっかけに平成30年12月に法人を設立し、5人の出資者により活動を開始しました。今では、法人の活動に理解を示し、共に活動してくれるメンバーが増え、現在は18人で活動しています。

逆境にくじけず、復興へと取り組むメンバーの思いを込めて、「諦めない強さは、いつだってみかんが教えてくれた」のキャッチフレーズのもと活動しています。

☆ここがポイント☆

一般的な法人では、利益の追求をするのが普通ですが、玉津柑橘倶楽部は、利益追求はせずに、利益を地域還元することを目的としています。

また、玉津地区の魅力発信のために、ホームページで活動を紹介しているほか、玉津共選から買い取ったかんきつの販売や、ジュースの生産・販売を行っています。ジュースの販売では、首都圏まで販促を行っています。

収穫等の労働力補完に対し、災害復旧のために玉津に来ていただいたボランティアやアルバイトとのネットワークを活用して、以前から不足していた労働力確保に取り組んでいます。農家とのマッチング、宿泊施設の確保や運営についても、メンバーが協力して対応しています。

将来的には、玉津地区に労働力補完で来ていただいた方が、玉津地区に魅力を感じてもらい、定住してかんきつ栽培を開始してもらうことを夢見ています。

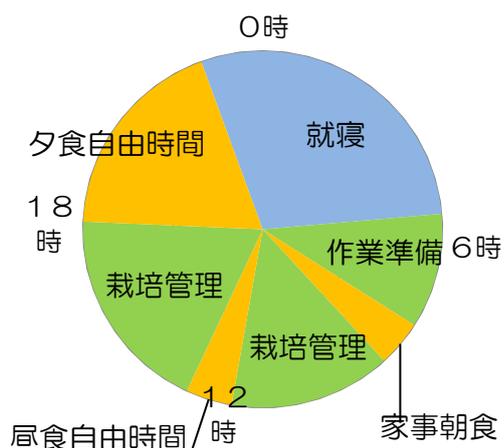


ポンカンの摘果作業



全国から来てくれる災害ボランティア

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

現在は、特に休日は決めていません。将来は、休日を設けるくらいの、余裕あるかんきつ経営を行いたいです。

家族全員が音楽好きの環境で育ち、弟は今も音楽活動を続けています。音楽鑑賞やライブに参戦して、農作業の疲れを癒しています。

音楽活動を通じて知り合った仲間からは、農業に対していろいろなメッセージが寄せられ、災害の復旧支援にも来てもらいました。かんきつジュースの販売も協力を得て、心強く感じています。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	← 収穫・出荷 →					
【普通期】	← 栽培管理 →					→ 休日 ←



農林水産大臣からメッセージを受け取った



ボランティアの宿泊施設開設

☆これからの夢や目指すもの☆

玉津柑橘倶楽部の活動を通じて、災害に強い産地づくりと仲間づくりに取り組んでいきたいです。宿泊施設の確保や運営など、受け入れ体制の整備、アルバイトと農家のネットワークづくりを積極的に進め、玉津産地が50~100年先まで生き残れるよう取り組んでいきたいです。

☆メッセージ☆

玉津地区のかんきつ栽培園は急傾斜地が多く、労働環境としては良いとは言えません。過酷な環境だからこそ、生産される果実は太陽の光をたっぷり浴びて美味しく育つのです。玉津地区には、「みんなでワイワイ楽しくやろうや」といった気質があり、現在は若い農家が多く、みんなで「若い挑戦者=あなた」をお待ちしています。